

	中期経営目標概要	短期経営目標概要	概要	段 階	1 学期			2 学期			3 学期			平均			概要	
					生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員	生徒	保護者	教員		
実社会に生きて働く学力	課題解決力	生徒が自ら学習意欲をもって学習の目標・課題を見通しを持ち振り返りを行いながら、主体的・自律的に学習を進める姿勢を養う。	授業目標・課題を明示し、生徒の興味を引き出し、受け身の暗記・再生ではなく、目標・課題に向けて思考・判断を伴う知識・技能の活用を図り、達成感の得られる授業の工夫・改善を行う。常に生徒の視点に立ち、生徒主体の学習活動を展開する。	自ら学ぶ意欲	1	4.6 (3.9)	4.1 (3.9)	3.8 (3.9)	4.6 (3.9)	4.0 (3.8)	4.6 (4.3)	4.6 (4.0)	4.0 (3.7)	4.4 (3.9)	4.6 (3.9)	4.0 (3.8)	4.3 (4.0)	自ら学ぶ意欲
		生徒が自ら「問い」を立て、自分なりの方法で、自分なりの答えを見出す「探求力」を養う。	生徒が自ら発する「問い」から解決を図る「探究の過程」を支援し、生徒が自分なりの「答え」を見出せるよう支援を行う。	探究力	2	4.4 (3.7)	3.6 (3.5)	3.8 (3.9)	4.3 (3.7)	3.5 (3.3)	4.1 (3.9)	4.4 (3.8)	3.6 (3.5)	4.0 (3.6)	(4.1) (4.1)	3.6 (3.4)	4.0 (3.8)	探究力
		学習課題に向けて自ら考えを形成しながら、対話的・協働的によりよい課題解決を図る力を養う。	ファシリテーションの手法等を活用し、各教科領域において、ペアワークやグループ学習を活性化委させ、対話的・協働的に課題解決を図る授業を展開する。	協働的な学び	3	4.6 (3.9)	3.7 (3.6)	4.2 (4.0)	4.4 (3.9)	3.7 (3.4)	4.2 (4.6)	4.6 (4.0)	3.8 (3.5)	4.2 (3.6)	4.5 (3.9)	3.7 (3.5)	4.2 (3.9)	協働的な学び
		主体的に学ぶ姿勢を重視し、協働的な学びと個別最適な学びの相乗効果を図り、自ら課題を見出し解決を図る実践的な課題解決力や「実社会に生きて働く学力」を養う。	新たに社会や学校における基盤的なツールとなる ICT も最大限活用することにより、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する →「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図る。	ICT機器の活用 (学校内)	4	4.5 (3.9)	2.6 (3.5)	3.8 (3.6)	4.5 (4.0)	3.6 (3.5)	3.5 (3.7)	4.5 (4.1)	3.6 (3.6)	3.7 (3.8)	4.5 (4.0)	3.3 (3.5)	3.7 (3.7)	ICT機器の活用 (学校内)
				ICT機器の活用 (家庭内)	5	3.6 (3.0)	3.2 (3.1)	3.3 (2.7)	3.6 (3.3)	3.1 (3.1)	3.1 (2.8)	3.5 (3.3)	3.3 (3.1)	3.1 (2.8)	3.6 (3.2)	3.2 (3.1)	3.2 (2.8)	ICT機器の活用 (家庭内)
		学習課題に向けて、ICTを活用するなど、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく個々の生徒の特性とニーズに応じた「個別最適な学習」を実現し、個々の資質・能力の効果的な育成を図り課題解決力を養う。	ICTやタブレット端末を効果的に活用するなど学校と家庭の双方において個々の学習ニーズや学習スタイルに応じた個別最適な学習を可能にする支援・指導を行う。また学力不振生徒に対しては補充学習等の充実を図る。生徒自身が自らに合った学習の進め方や学び方を考えたり、選択することができるように支援・指導する。	個別最適な学び	6	4.5 (3.5)	3.5 (3.4)	3.4 (3.8)	4.3 (3.6)	3.4 (3.3)	4.0 (3.8)	4.2 (3.7)	3.5 (3.3)	4.0 (3.4)	(3.7) (3.6)	3.5 (3.3)	3.8 (3.7)	個別最適な学び
豊かな人間性		全教育活動を通して生徒が自己のキャリア形成を日々の学びの中で自覚し、さらに将来、主体的に社会に参画し自己実現を果たせるよう、自己のキャリア形成を意図的に図れる資質・能力を培う。	生徒自身が各教科や学校の学びを、将来に役立たせ自己のキャリア形成に生かせるように指導の工夫を行う。 キャリア・パスポートの効果的な活用により生徒の自己理解の深化と自覚的・意図的なキャリア形成を促し支援を図る。	キャリア形成 自己実現	7	4.4 (3.6)	3.8 (3.3)	3.8 (3.9)	4.3 (3.8)	3.8 (3.4)	4.3 (4.0)	4.3 (3.8)	3.8 (3.3)	4.3 (3.9)	4.3 (3.7)	3.8 (3.3)	4.1 (3.9)	キャリア形成 自己実現
		あたたかな環境と信頼関係のなかで、互いの人格を尊重し、自他ともに大切に する「思いやり」の心を育み「豊かな人間性」を培う。	全教育活動における様々な体験活動の中で、あたたかな環境と人との信頼関係を築き、互いの人格を尊重し「思いやり」の心をもって他の人に接することができる「豊かな人間性」を培う。「西東京あったか先生」の取り組みを推進し、人権について考える機会を設ける。道徳地区公開講座等を活用し道徳教育を充実させる。	思いやり	8	4.6 (3.0)	4.3 (4.0)	4.0 (4.1)	4.6 (4.1)	4.2 (4.0)	4.7 (4.3)	4.6 (4.1)	4.3 (3.9)	4.5 (3.9)	4.6 (3.7)	4.3 (4.0)	4.4 (4.1)	思いやり
		いじめのないあたたかな環境と良好な関係を築き、生徒一人一人が自他の可能性やよさを発揮し、安心して学校生活が送れるようにする。	深い生徒理解に基づく生徒指導を推進し、いじめ撲滅と予防に向け、毎月アンケートを行い、情報を収集し早期の対応を図る。生徒会活動等を通して、意識の向上を図り困っている人を見逃さず声を掛けをて助けられるような生徒の育成を行う。	良好な人間関係	9	4.7 (4.1)	4.5 (4.1)	4.3 (4.0)	4.7 (4.1)	4.2 (3.9)	4.7 (4.2)	4.7 (4.2)	4.3 (4.0)	4.5 (3.8)	4.7 (4.1)	4.3 (4.0)	4.5 (4.0)	良好な人間関係
			生徒一人ひとりが自らの個性やよさに気づき、さらに他者の個性のよさや個性を認め互いに高め合えるように、教育相談の充実を図る。	教育相談	10	4.4 (3.9)	4.1 (3.8)	4.5 (4.2)	4.5 (3.9)	4.0 (4.1)	4.9 (4.4)	4.5 (3.9)	4.1 (3.8)	4.7 (4.2)	4.5 (3.9)	4.1 (3.9)	4.7 (4.3)	教育相談
健全な心と体	やり抜く力	粘り強い意志、意欲、実践力の基盤となる健全な心と体を育成し、ものごとを主体的・自律的に粘り強くやり続ける力、最後までやり抜く力の基礎を培う。特別活動等の全教育課程を通して、判断力・自主性・社会性を習得させる。豊かなスポーツライフの実現に向けて授業や体育的行事等を関連させ、効果的な指導を行う。	生徒が自ら創り上げる生徒主体の行事等を成功させ、達成感や自己肯定感を育み、やり抜く力を培う。	やり抜く力	11	4.6 (3.9)	4.4 (4.2)	3.6 (3.6)	4.7 (4.1)	4.4 (4.2)	4.4 (4.2)	4.5 (4.1)	4.0 (4.1)	4.1 (4.0)	4.6 (4.0)	4.3 (4.2)	4.0 (3.9)	やり抜く力
		健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。各教科・領域において体力増進、心身の健康、食育など、健康に関する指導の充実を図り、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送れるように支援を行う。	感染症等の予防対策やがん教育、食育の推進等による心身の安全・健康の保持増進に関する指導の充実を図る。また、保谷中独自の準備運動「保谷ステップ」を取り入れ体力向上の目標を明確に設定し、組織的な推進を図る。	健康体力	12	4.5 (3.9)	4.0 (3.8)	3.8 (3.6)	4.5 (4.0)	3.8 (3.6)	4.2 (3.8)	4.0 (4.0)	3.6 (3.6)	3.8 (3.8)	4.3 (4.0)	3.8 (3.7)	3.9 (3.7)	健康体力
規範意識 する心	社会に貢献 する心	生徒の主体的な集団活動の中で、生徒が自ら集団の倫理を自律的に高められるように支援する。集団活動の中で生徒一人一人が倫理感や責任感、自律心を向上させ、正しい判断に基づき行動できるようにする。	物事のよし悪しの判断・挨拶・授業規律・時間厳守を生徒主体の集団活動の中で身に付けられるように支援する。生徒の自主・自律を目指し、集団内で自らを生かした責任ある行動がとれるように支援を行う。	正しい判断	13	4.7 (4.1)	4.4 (4.1)	4.0 (4.2)	4.6 (4.1)	4.3 (4.0)	4.6 (4.3)	4.7 (4.1)	4.4 (4.0)	4.6 (4.0)	4.7 (4.1)	4.4 (4.0)	4.4 (4.2)	正しい判断
		生徒自らが進んで挨拶をし、お互いが気持ちよく過ごせるためのルールやマナーを尊重し実践できるようにする。集団活動の中で、集団や社会的規範の意義と重要性を理解し自他を律し規範に即して行動できるようにする。	授業の始めや終わり、来校者への挨拶、普段から挨拶のあるふれあいの雰囲気を生徒が作り上げるよう支援する。学級活動や委員会等の集団活動を体験する中で、集団や社会における規範の意義と重要性を理解し自他を律し規範に即して行動できるようにする。	あいさつ 規範意識	14	4.5 (4.0)	4.2 (4.0)	3.8 (4.0)	4.5 (4.0)	4.1 (3.9)	4.7 (4.2)	4.7 (4.1)	4.1 (3.9)	4.6 (4.2)	4.6 (4.0)	4.1 (3.9)	4.4 (4.1)	あいさつ 規範意識
		学校生活の様々な集団活動を通して、集団や社会のよさや意義を理解し、責任と役割を主体的に担うように支援する。地域や社会で働く人々から直接あるいは間接的に学び、またボランティア活動等の体験を通して、社会に貢献する心や社会貢献の基本的行動を身に付けられるように支援していく。	学級活動や委員会等の様々な集団活動を通して、集団や社会のよさや意義を理解し責任と役割を主体的に担う。職業学習等を通して地域に働く人々の役割・社会的貢献力・郷土愛等を身近に学び、社会に貢献する意欲・意識を培う。挨拶運動・ボランティア活動等の体験を通して社会貢献の基本的行動を学ぶ。	社会に貢献する心	15	4.6 (3.9)	4.2 (3.7)	3.8 (3.5)	4.6 (4.0)	4 (3.7)	4.1 (3.9)	4.6 (3.9)	4.1 (3.7)	4.1 (3.9)	4.6 (3.9)	4.1 (3.7)	4.0 (3.8)	社会に貢献する心
働き方改善	業務改善	業務改善について教職員の意識改革を図る。	担当する業務の改善、効率化、またライフワークバランスなどについて、自己申告に具体的な目標を示し、取り組む。	業務改善	16			2.8 (3.0)			3 (3.3)			2.9 (3.1)			2.9 (3.0)	業務改善
			週当たりの在校時間を、53時間/週を超えない。	ライフワーク バランス	18			3.2 (2.7)			2.7 (2.9)			3.2 (2.8)			3.0 (2.9)	ライフワーク バランス